

長野県東御市湯の丸高原の植物相

川上 美保子*

はじめに

浅間山西方の東御市地籍に位置する烏帽子岳、湯の丸山、東麓の登山、西麓の登山、見晴岳は、第四紀火山地の烏帽子火山群に含まれている。これら山域には数多くの特徴ある植物が知られているが、系統だてた調査報告がないため植物相調査を実施した。この地域の植物相調査については、三方ヶ峰、東麓の登山、西麓の登山を含んだ「池の平周辺の植物相」として星山・川上(2012)の報告がある。しかし烏帽子岳、湯の丸山、見晴岳については未調査であったため追加調査し、それらと合わせた結果を報告する。

またキク科植物に実態のよくわかっていないものがあったため現地調査と押し葉標本を作成し、植物学的に検討した。その結果、山域一帯に生育するキク科植物の実態の解明が進み、未記載種であることがわかり、このたび新種、和名トウミトウヒレン、学名 *Saussurea mihokokawakamiana* Kadota と原記載論文が発表される予定（植物研究雑誌 第92巻2号2017年4月発表）となった。

確認された維管束植物は 413 種類であった。新種トウミトウヒレンはどの山脈にも生育していた。(写真 1)

1. 調査地と調査方法

調査地は烏帽子岳 (2065m)、湯の丸山 (2101 m)、東麓の登山 (2227 m)、西麓の登山 (2212 m)、三方ヶ峰 (2040m)、見晴岳 (2095m) の 6 カ所で、上信越高原国立公園となっている。いずれの調査地も標高 1500 m から 2500m の亜高山帯で内陸性気候のため少雨傾向で、山麓の東御市新張 (958m) では年間雨量 965mm となっている。調査地の位置から、日本海型と太平洋型の移行帯であるため、植物もその影響を受けて生育していると考えられる。

調査は烏帽子岳、湯の丸山、三方ヶ峰は標高 1733 m の地蔵峠から頂上までを、また東麓の登山、西麓の登山は、標高 1950 m の池の平駐車場より頂上までを、それぞれ 1 日で行った。



図1 調査対象地（外周の点線内）

国土地理院 2 万 5 千分の 1 地理情報サービスを使用

上までの登山道を中心に周辺の林内及び草原を歩き、出現した植物を記録した。種名が不明な植物は、写真撮影と標本採取により同定作業を行った。調査は2012年6月より開始、2016年10月まで28回にわたって実施した。(図1)

(1) 烏帽子岳調査地

調査ルートは、湯の丸山裾道を経た鞍部より小鳥帽子、鳥帽子岳頂上までとした。山腹斜面にはコメツガ、カラマツ、ダケカンバ、タカネザクラが生えていた。登山道沿いにシャジクソウ、ゲンバイヅル、シロバナノヘビイチゴ、ヒメスミレサイシンなどが見られた。頂上までの稜線一帯は、風衝地となり砂礫地にはミネズオウ、ガンコウラン、クロマメノキ、ヒロハヘビノボラズなどが生育し、草本ではイワハタザオ、アズマギク、ミヤマラツキョウ、コメススキ、ムカゴトラノオなどが確認できた。岩陰などに植栽と思われるコマクサが生育していた。

(2) 湯の丸山調査地

地蔵峠から白窪湿原、中分岐を経てつつじ平から頂上までをルートとした。烏帽子岳へ向かう湯の丸山裾道も調査地とした。白窪湿原内は乾燥気味でアヤメ、ハクサンフウロ、イブキフウロ、ススキがみられ、霧ヶ峰が基準産地のイヌカモジグサが生育していた。湿原周囲一帯は草刈りが実施されている影響か、草原に多いゼンテイカ、ハクサンフウロ、ミ

* 川上美保子 〒386-0005 長野県上田市古里 2117



写真1 トウミトウヒレン



写真2 ヒメスミレサイシン

ヤマワレモコウ、ノアザミなどが群生していた。裾道にはダケカンバ、キタゴヨウ、ヤハズハンノキなどの大径木の他にサラサドウダン、ヒロハツリバナが多く、コヨウラクツツジの他ヒメスミレサイシンがみられた。つつじ平を経た頂上付近の砂礫地には矮小低木のクロマメノキ、ガンコウラ、ツガザクラが生えていた。山腹斜面には亜高山帯針葉樹のコメツガが、ダケカンバ大径木と混在していた。

(3) 東麓の登山調査地

池の平駐車場から頂上に向かう登山道ルートを主に調査した。シラビソ、オオシラビソ、コメツガ、トウヒが生え、やや湿潤な林床はミヤマアオスゲが群生し、ホソバトウゲシバも見られた。コケ類ではミヤマスギゴケ、イワダレゴケ、タチハイゴケなどが生えていた。また林内にはセリバオウレン、コセリバオウレン、イチヨウランが点在していた。頂上付近は岩礫地でウスユキソウ、オンタデ、クロマメ

ノキ、ガンコウラン、タカネニガナ、コメススキ、ミヤマヌカボが生え、リンネソウも認められた。

(4) 西麓の登山調査地

東麓の登山頂上から鞍部を経て岩場の多い頂上へいくルートを調査した。山腹にはシラビソとオオシラビソの群落やコメツガの群落が小規模ながらモザイク状に見られた。東麓の登山との鞍部付近にはオオバミネカエデ、クロベ、リンネソウ、アカミノイヌツゲなどが生え、頂上砂礫地にはコメススキ、ミヤマヌカボが点在していた。園芸種と思われる鮮色のコマクサが植えられていた。

(5) 三方ヶ峰調査地

池の平駐車場からあやめ池を擁する湿原を一周する調査コースとした。調査地は岩礫地、砂礫地、コメツガ林、草原、湿原と多様であった。雨水が涵養されている高層湿原あやめ池一帯でミズゴケ、モウセンゴケ、アゼスゲ、サギスゲなどが確認された。湯の丸・高峰林道沿いには、ミヤマコウゾリナの他に、ヤツタカネアザミがみられた。また稜線に発達する小規模な低小草原にはイヌカモジグサが生育していた。

(6) 見晴岳調査地

湯の丸スキー場から三方ヶ峰の西方に位置する見晴岳頂上までを調査地とした。コースのほとんどはダケカンバやアズマシャクナゲなどが点在するコメツガ林で、林床にはミヤマアオスゲとコケ類が生育していた。林縁はコミヤマカタバミ、タケシマラン、ゴゼンタチバナ、マイヅルソウが生えていた。明るい草地で、八ヶ岳山麓に多く生育するとされるオニゼンマイが見られた。

2. 結果

確認できた種（亜種、変種、品種含む）はシダ植物 13 科 25 種、裸子植物 2 科 11 種、被子植物 63 科 377 種の計 413 種類であった。これまでに当該地域をまとめた市町村誌「東部町誌」にも植物目録はなく、特に烏帽子岳、湯の丸山、見晴岳を加えた系統だてた報告は初めてとなる。

湯の丸高原一帯の高木は、樹高 20 ～ 30 m の亜寒帯針葉樹の代表種オオシラビソと本州中部亜高山帯のみに分布するシラビソが混合林となって適湿な山域に存在し、これらのほかにトウヒ、コメツガ、

キタゴヨウなどの針葉樹が各山域で見られた。これら針葉樹林の林冠の上にダケカンバの老木が枝を広げるかのように混生しているため、林内は暗く稚樹が疎らに生えている程度の貧弱な植生となっていた。

亜高木はサラサドウダン、ヒロハツリバナ、ハクサンシャクナゲなどが林縁に生え、低木ではコヨウラクツツジ、ハリブキ、ミヤマシグレなどが僅かにみられた。またこれら樹林帯の草本層を構成する代表種としてミヤマワラビ、イチヨウラン、ゴゼンタチバナなどコメツガ林内・林縁で確認ができた。頂上付近にはガンコウラン、ミネズオウ、クロマメノキなどの矮小低木が岩礫地などに群落を形成していた。草本種では八ヶ岳山麓、霧ヶ峰に生育するヤツタカネアザミ、オニゼンマイ、イヌカモジグサなどのほか、フォッサ・マグマ要素植物とされるヒメスミレサイシンや全国的にみて特異な分布をするゲンバイヅル、ジャジクソウ、ミヤマアオスゲ、コゴメヒョウタンボクなどが生育していた。（写真 2）

分布上注目すべき種

●ミヤマアオスゲ（カヤツリグサ科ヌカスゲ属）

コイトスゲの変種であるが、花期に前年の葉が残る点が特徴。ほの暗いシラビソ・オオシラビソ林で林床を埋めるかのように群生する。果胞の嘴の先が長い。分布は、栃木県、岐阜県で県内では八ヶ岳山麓に生育していることがわかっているが、当調査地でも確認することができた。

●イヌカモジグサ（イネ科カモジグサ属）

草原に生え、草丈は 80 ～ 100m。夏の終わり頃、曲がって強く反り返る 3.5cm 前後の芒を出す。タイプ産地は霧ヶ峰。本州中部の高地草原に分布するとされているが、調査地内の草原でも直立する特異な姿が確認できた。

●シャジクソウ（マメ科シャジクソウ属）

草丈 15 ～ 20cm で登山道沿いなどの林下や草むらなどに生える。夏に咲く花は蝶形花で、10 ～ 20 個ほどの頭状花序が扇状につくので車軸のように見える。分布は東アジア、北海道、宮城県、群馬県など。県内では中・東部の分布となっていて今回の調査地内で多く生育していた。菅平地方はゲンバイヅルが多く生えているが、シャジクソウの生育は確認されていない。

●ヒメスミレサイシン（スミレ科スミレ属）

早春、コメツガなど常緑針葉樹林下に生える。高さ 5cm 前後。花はスミレサイシン属の中でもっとも

小さいが、開葉前に咲き始めるため枯れ草の中で目立つ。葉は心形で先が尖り花ともに開き始め、花後は大きくなる。分布域は中部地方東部、関東地方西部とされているが、調査地では烏帽子岳、湯の丸山で多く生えていた。

●ゲンバイツル (シソ科クワガタソウ属)

林縁や草地に生える。茎は地上を這い、節から出た根は広がる。根元の葉は土に埋もれ枯れていく。高さ 10cm 位。夏、葉腋よりまっすぐな総苞花序を出し、沢山の花をつける。花冠は深く 4 つに裂け、果実は扁平な広楕円形となるため軍配のようになる。長野県中北部と群馬県に分布する。県内の菅平や美ヶ原には多く分布するが、今回の調査地内では烏帽子岳・湯の丸山以外は個体数が少なかった。

●コゴメヒョウタンボク (スイカズラ科スイカズラ属)

山地でよく分枝して茂る。高さ 1m ほど。葉は楕円形で長さ 5 ~ 30mm。春に咲く花は暗紫色で、液果は赤色となり二個並ぶが合着はしない。長野県の他に静岡県に分布。ヤブヒョウタンボクの変種。

3. まとめ

調査の結果を付表 1 にまとめた。リストは APG 分類体系に従って配列し、学名および和名は YList に準拠した。

当該地域の亜高山帯を代表する種としてはオオシラビソ *Abies mariesii*、シラビソ *Abies veitchii*、トウヒ *Picea jezoensis* var. *hondoensis*、ハクサンイチゲ *Anemone narcissiflora* subsp. *nipponica*、ミヤマハンショウヅル *Clematis alpina* subsp. *ochotensis* var. *fusijamana*、ミヤマホツツジ *Elliottia bracteata*、ツガザクラ *Phyllodoce nipponica* subsp. *nipponica*、ハクサンシャクナゲ *Rhododendron brachycarpum* var. *brachycarpum*、ミヤマアオスゲ *Carex sachalinensis* var. *longiuscula*、テングノコヅチ *Tripterispermum japonicum* var. *involutum*、ゲンバイツル *Veronica onoei*、ハクサンオミナエシ *Patrinia triloba* var. *triloba*、イワインチン *Chrysanthemum rupestre*、シャジクソウ *Trifolium lupinaster*、トウミトウヒレン *Saussurea mihokokawakamiana* Kadota などがみられ

た。

本州中部亜高山帯のみに発達するシラビソ・オオシラビソ群落が小規模ながら成立し、ほかにトウミトウヒレンをはじめとする火山活動由来の植物が生育していた。今後、東御市のみならず広域範囲の調査により、浅間山山系の植生がさらに明らかになることを期待したい。

謝辞

門田裕一国立科学博物館・名誉研究員には、未確認種であったトウヒレン属の標本同定と述べ 4 日間にわたる現地調査をして頂きました。またトウミトウヒレンの原記載論文を執筆頂きました。ここに記して深く感謝申し上げます。

林野庁東信森林管理署には、調査立ち入りと採取の許可を頂きました。東御市教育委員会の清水敏道氏には調査のため便宜を図って頂きました。感謝申し上げます。

最後になりましたが、本報告に多大な助言をいただいた長野県環境保全研究所の大塚孝一氏、植物研究家星山耕一氏に心より感謝いたします。

引用文献

<http://ylist.info/>

東部市 (1989) 東部町誌自然編・東部町誌編纂委員会。

清水建美監修 (1997) 長野県植物誌・信濃毎日新聞社。

星山耕一・川上美保子 (2013) 長野県東御市池の平周辺の植物相・長野県植物研究会誌 46:49-57。

福嶋司・岩瀬徹編 (2005) 図説日本の植生・朝倉書店。

中西悟・大場達之他著 (1996) 日本の植生図鑑 < I >。保育社。

朝日新聞 (1996) 朝日百科植物の世界 129。朝日新聞。

いがりまさし (1996) 日本のスミレ。山と溪谷社。

林将之 (2014) 山溪ハンデイ図鑑 14 樹木の葉。山と溪谷社。

勝山輝男 (2005) 日本のスゲ。文一総合出版。

長田武正 (1993) 日本イネ科植物図譜。平凡社。

付表 1-1 長野県東御市湯の丸高原の植物目録

科名	学名	和名	湯の丸 池の平	
Lycopodiaceae	ヒカゲノカズラ科			
	<i>Huperzia serrata</i> (Thunb.) Trevis. var. <i>serrata</i>	ホソバトウゲシバ	○	○
	<i>Lycopodium annotinum</i> L.	スギカズラ	○	○
	G: <i>Lycopodium clavatum</i> L. var. <i>nipponicum</i> Nakai	ヒカゲノカズラ	○	○
	<i>Lycopodium complanatum</i> L.	アスヒカズラ	○	○
	<i>Lycopodium dendroideum</i> Michx.	マンネンスギ	○	○
Selaginellaceae	イフヒバ科			
	<i>Selaginella shakotanensis</i> (Franch. ex Takeda) Miyabe et Kudô	ヒモカズラ	○	—
Ophioglossaceae	ハナヤスリ科			
	<i>Botrychium multifidum</i> (S.G.Gmel.) Rupr. var. <i>robustum</i> (Rupr. ex Milde)	エゾフユノハナワラビ	○	○
Equisetaceae	トクサ科			
	<i>Equisetum arvense</i> L.	スギナ	○	—
Osmundaceae	ゼンマイ科			
	<i>Osmunda claytoniana</i> L.	オニゼンマイ	○	—
	<i>Osmunda japonica</i> Thunb.	ゼンマイ	○	—
	<i>Osmundastrum cinnamomeum</i> (L.) C.Presl var. <i>fokiense</i> (Copel.) Tagawa	ヤマドリゼンマイ	○	○
Hymenophyllaceae	コケシノブ科			
	<i>Hymenophyllum wrightii</i> Bosch	コケシノブ	○	○
Dennstaedtiaceae	コバノイシカグマ科			
	<i>Pteridium aquilinum</i> (L.) Kuhn subsp. <i>japonicum</i> (Nakai) Á. et S.Löve	ワラビ	○	—
Aspleniaceae	チャセンシダ科			
	<i>Asplenium incisum</i> Thunb.	トラノオシダ	○	○
Thelypteridaceae	ヒメシダ科			
	<i>Thelypteris phegopteris</i> (L.) Sloss. ex Rydb.	ミヤマワラビ	○	○
	<i>Thelypteris quelpaertensis</i> (H.Christ) Ching var. <i>quelpaertensis</i>	オオバシヨリマ	○	○
Woodsiaceae	イワデンダ科			
	<i>Athyrium melanolepis</i> (Franch. et Sav.) H.Christ	ミヤマメシダ	○	○
	<i>Athyrium yokoscense</i> (Franch. et Sav.) H.Christ	ヘビノネゴザ	○	○
	<i>Deparia jiuilungensis</i> (Ching) Z.R.Wang var. <i>albosquamata</i> (M.Kato) Z.R.Wang	ハクモウイノデ	○	○
Blechnaceae	シシガシラ科			
	<i>Blechnum niponicum</i> (Kunze) Makino	シシガシラ	○	○
Onocleaceae	コウヤワラビ科			
	<i>Pentarhizidium orientale</i> (Hook.) Hayata	イヌガンソク	○	—
Dryopteridaceae	オンダ科			
	<i>Arachniodes mutica</i> (Franch. et Sav.) Ohwi	シノブカグマ	○	○
	<i>Dryopteris crassirhizoma</i> Nakai	オンダ	○	○
	<i>Dryopteris expansa</i> (C.Presl) Fraser-Jenk. et Jermy	シラネワラビ	○	○
	<i>Dryopteris sabae</i> (Franch. et Sav.) C.Chr.	ミヤマイタチシダ	○	○
Pinaceae	マツ科			
	<i>Abies homolepis</i> Siebold et Zucc.	ウラジロモミ	○	○
	<i>Abies mariesii</i> Mast.	オオシラビソ	○	○
	<i>Abies veitchii</i> Lindl.	シラビソ	○	○
	<i>Larix kaempferi</i> (Lamb.) Carrière	カラマツ	○	○
	<i>Picea jezoensis</i> (Siebold et Zucc.) Carrière var. <i>hondoensis</i> (Mayr) Rehder	トウヒ	○	○
	<i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zucc.	アカマツ	○	○
	<i>Pinus parviflora</i> Siebold et Zucc. var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) A.Henry	キタゴヨウ	○	○
	<i>Pinus parviflora</i> Siebold et Zucc. var. <i>pentaphylla</i> (Mayr) A.Henry f. <i>laevis</i> (H.Hara) Sugim.	トドハダゴヨウ	○	○
	<i>Tsuga diversifolia</i> (Maxim.) Mast.	コメツガ	○	○
Cupressaceae	ヒノキ科			
	<i>Chamaecyparis obtuse</i> (Siebold et Zucc.) Endl.	ヒノキ	○	—
	<i>Thuja standishii</i> (Gordon) Carrière	ネズコ	○	○
Araceae	サトイモ科			
	<i>Arisaema nikoense</i> Nakai subsp. <i>nikoense</i>	ユモトマムシグサ	○	○
Nartheciacae	キンコウカ科			
	<i>Alettris foliata</i> (Maxim.) Bureau et Franch.	ネバリノギラン	○	○
	<i>Metanarthecium luteoviride</i> Maxim.	ノギラン	○	○
Melanthiaceae	シュロソウ科			
	<i>Helonias orientalis</i> (Thunb.) N.Tanaka	ショウジョウバカマ	○	○
	<i>Paris tetraphylla</i> A.Gray	ツクバネソウ	○	—
	<i>Paris verticillata</i> M.Bieb.	クルマバツクバネソウ	○	○
	<i>Trillium apetalon</i> Makino	エンレイソウ	○	○
	<i>Trillium tschonoskii</i> Maxim.	ミヤマエンレイソウ	○	○
	<i>Veratrum album</i> L. subsp. <i>oxysepalum</i> (Turcz.) Hultén	バイケイソウ	○	○
	<i>Veratrum maackii</i> Regel	シュロソウ	○	○
	<i>Veratrum stamineum</i> Maxim.	コバイケイソウ	○	○
Colchicaceae	イヌサフラン科			

付表 1-2 長野県東御市湯の丸高原の植物目録

科名	学名	和名	湯の丸	池の平
Liliaceae ユリ科	<i>Disporum smilacinum</i> A.Gray	チゴユリ	○	○
	<i>Clintonia udensis</i> Trautv. et C.A.Mey.	ツバメオモト	○	○
	<i>Lilium leichtlinii</i> Hook.f. f. <i>pseudotigrinum</i> (Carrière) H.Hara et Kitam.	コオニユリ	○	○
	<i>Lilium medeoloides</i> A.Gray	クルマユリ	○	○
	<i>Streptopus streptopoides</i> (Ledeb.) Frye et Rigg subsp. <i>japonicus</i> (Maxim.) Utech et Kawano	タケシマラン	○	○
Orchidaceae ラン科	<i>Androcorys pusillus</i> (Ohwi et Fukuy.) Masam.	ミスズラン	○	○
	<i>Cephalanthera longibracteata</i> Blume	ササバギンラン	○	○
	<i>Cypripedium yatabeanum</i> Makino	キバナノアツモリソウ	○	—
	<i>Dactylorhiza aristata</i> (Fisch. ex Lindl.) Soó	ハクサンチドリ	○	○
	<i>Dactylostalix ringens</i> Rehb.f.	イチヨウラン	○	○
	<i>Epipactis papillosa</i> Franch. et Sav.	エソスズラン	○	○
	<i>Gymnadenia conopsea</i> (L.) R.Br.	テガタチドリ	○	○
	<i>Malaxis monophyllos</i> (L.) Sw.	ホザキイチヨウラン	○	○
	<i>Neottia cordata</i> (L.) Rich.	コフタバラン	○	○
	<i>Neottia nipponica</i> (Makino) Szlach.	ミヤマフタバラン	○	○
	<i>Oreorchis patens</i> (Lindl.) Lindl.	コケイラン	○	○
	<i>Platanthera ophrydioides</i> F.Schmidt	キソチドリ	○	○
	<i>Platanthera sachalinensis</i> F.Schmidt	オオヤマサギソウ	○	○
	<i>Platanthera tipuloides</i> (L.f.) Lindl. subsp. <i>nipponica</i> (Makino) Murata	コバトンボソウ	○	○
	<i>Platanthera tipuloides</i> (L.f.) Lindl. subsp. <i>tipuloides</i> var. <i>sororia</i> (Schltr.) Soó	ホソバナキソチドリ	○	○
	<i>Spiranthes sinensis</i> (Pers.) Ames var. <i>amoena</i> (M.Bieb.) H.Hara	ネジバナ	○	○
Iridaceae アヤメ科	<i>Iris ensata</i> Thunb. var. <i>spontanea</i> (Makino) Nakai ex Makino et Nemoto	ノハナショウブ	○	○
	<i>Iris sanguinea</i> Hornem.	アヤメ	○	○
Xanthorrhoeaceae ススキノキ科	<i>Hemerocallis dumortieri</i> C.Morren var. <i>esculenta</i> (Koidz.) Kitam. ex M.Matsuoka et M.Hotta	ゼンテイカ	○	○
Amaryllidaceae ヒガンバナ科	<i>Allium splendens</i> Willd. ex Schult. et Schult.f.	ミヤマラッキョウ	○	—
	<i>Allium thunbergii</i> G.Don	ヤマラッキョウ	○	○
Asparagaceae キジカクシ科	<i>Convallaria majalis</i> L. var. <i>manshurica</i> Kom.	スズラン	○	○
	<i>Hosta sieboldiana</i> (Lodd.) Engl. var. <i>sieboldiana</i>	トウギボウシ	○	○
	<i>Hosta sieboldii</i> (Paxton) J.W.Ingram var. <i>sieboldii</i> f. <i>spathulata</i> (Miq.)	コバギボウシ	○	—
	<i>Maianthemum dilatatum</i> (A.W.Wood) A.Nelson et J.F.Macbr.	マイヅルソウ	○	○
	<i>Polygonatum falcatum</i> A.Gray	ナルコユリ	○	○
	<i>Polygonatum humile</i> Fisch. ex Maxim.	ヒメイズイ	○	○
	<i>Polygonatum lasianthum</i> Maxim.	ミヤマナルコユリ	○	○
	<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi	アマドコロ	○	○
Eriocaulaceae ホシクサ科	<i>Eriocaulon taquetii</i> Lecomte	ニッポンイヌノヒゲ	○	○
Juncaceae イグサ科	<i>Juncus decipiens</i> (Buchenau) Nakai	イグサ	○	○
	<i>Juncus fauriensis</i> Buchenau	ホソコウガイゼキショウ	○	○
	<i>Juncus tenuis</i> Willd.	クサイ	○	○
	<i>Luzula capitata</i> (Miq.) Miq. ex Kom.	スズメノヤリ	○	○
	<i>Luzula multiflora</i> (Ehrh.) Lejeune	ヤマスズメノヒエ	○	○
	<i>Luzula plumosa</i> E.Mey. subsp. <i>plumosa</i>	ヌカボシソウ	○	○
Cyperaceae カヤツリグサ科	<i>Carex caryophylla</i> Latour. var. <i>microtricha</i> (Franch.) Kük.	チャシバスゲ	○	○
	<i>Carex fernaldiana</i> H.Lév. et Vaniot	イトスゲ	○	—
	<i>Carex humilis</i> Leyss. var. <i>nana</i> (H.Lév. et Vaniot) Ohwi	ホソバヒカゲスゲ	○	○
	<i>Carex incisa</i> Boott	カワラスゲ	○	○
	<i>Carex kiotensis</i> Franch. et Sav.	テキリスゲ	○	○
	<i>Carex leucochlora</i> Bunge var. <i>filiculmis</i> (Franch. et Sav.) Kitag.	イトアオスゲ	○	—
	<i>Carex leucochlora</i> Bunge var. <i>leucochlora</i>	アオスゲ	○	○
	<i>Carex longirostrata</i> C.A.Mey. var. <i>tenuistachya</i> (Nakai) Yonck.	チュウゼンジスゲ	○	—
	<i>Carex nubigena</i> D.Don ex Tillich et Taylor subsp. <i>albata</i> (Boott ex Franch. et Sav.) T.Koyama	ミノボロスゲ	○	○
	<i>Carex oxyandra</i> (Franch. et Sav.) Kudô var. <i>oxyandra</i>	ヒメスゲ	○	○
	<i>Carex sachalinensis</i> F.Schmidt var. <i>longiuscula</i> Ohwi	ミヤマアオスゲ	○	○
	<i>Carex thunbergii</i> Steud.	アゼスゲ	○	○
	<i>Carex vulpinoidea</i> Michx.	ナガバアメリカミコシガヤ	○	○
	<i>Eriophorum gracile</i> K.Koch	サギスゲ	○	○

付表 1-3 長野県東御市湯の丸高原の植物目録

科名	学名	和名	湯の丸	池の平
Poaceae	イネ科			
	<i>Agrostis clavata</i> Trin. subsp. <i>clavata</i>	ヤマヌカボ	○	○
	<i>Agrostis clavata</i> Trin. var. <i>nukabo</i> Ohwi	ヌカボ	○	○
	<i>Agrostis flaccida</i> Hack.	ミヤマヌカボ	○	○
	<i>Anthoxanthum horsfieldii</i> (Kunth ex Benn.) Mez ex Reeder var. <i>japonicum</i> (Maxim.) Veldkamp	タカネコウボウ	○	○
	<i>Anthoxanthum monticola</i> (Bigel.) Veldkamp subsp. <i>alpinum</i> (Sw. ex Willd.)	ミヤマコウボウ	—	○
	<i>Anthoxanthum nitens</i> (Weber) Y.Schouten et Veldkamp var. <i>sachalinense</i>	コウボウ	○	○
	<i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) Tanaka var. <i>ciliata</i> (Thunb.) Koidz.	ウスゲトダシバ	○	—
	<i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) Tanaka var. <i>glauca</i> (Koidz.) Honda	シロトダシバ	○	—
	<i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) Tanaka var. <i>hirta</i>	ケトダシバ	—	○
	<i>Avenella flexuosa</i> (L.) Drejer	コメススキ	○	○
	<i>Brachypodium sylvaticum</i> (Huds.) P.Beauv. var. <i>miserum</i> (Thunb.) Koidz.	ヤマカモジグサ	○	—
	<i>Calamagrostis hakonensis</i> Franch. et Sav.	ヒメノガリヤス	○	○
	<i>Calamagrostis longiseta</i> Hack.	ヒゲノガリヤス	○	○
	<i>Calamagrostis purpurea</i> (Trin.) Trin. subsp. <i>langsdoiffii</i> (Link) Tzvelev	イフノガリヤス	○	○
	<i>Dactylis glomerata</i> L.	カモガヤ	○	○
	<i>Elymus gmelinii</i> (Ledeb.) Tzvelev var. <i>tenuisetus</i> (Ohwi) Osada	イヌカモジグサ	○	—
	<i>Festuca ovina</i> L. subsp. <i>ovina</i>	シンウシノケグサ	○	○
	<i>Festuca rubra</i> L. var. <i>rubra</i>	オオウシノケグサ	○	—
	<i>Melica nutans</i> L. subsp. <i>nutans</i>	コメガヤ	○	○
	<i>Milium effusum</i> L.	イブキヌカボ	○	○
	<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson	ススキ	○	○
	<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson f. <i>decompositus</i> Nakai	エゾススキ	○	—
	<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson f. <i>purpurascens</i> (Andersson) Nakai	ムラサキススキ	○	○
	<i>Phleum pratense</i> L.	オオアワガエリ	○	○
	<i>Phragmites japonicus</i> Steud.	ツルヨシ	○	—
	<i>Poa alta</i> Hitchc.	アオイチゴツナギ	○	○
	<i>Poa annua</i> L. var. <i>annua</i>	スズメノカタビラ	○	○
	<i>Poa palustris</i> L.	ヌマイチゴツナギ	○	○
	<i>Poa pratensis</i> L. subsp. <i>pratensis</i>	ナガハグサ	○	○
	<i>Sasa chartacea</i> (Makino) Makino var. <i>nana</i> (Makino) Sad.Suzuki	ニッコウザサ	○	○
	<i>Sasa senanensis</i> (Franch. et Sav.) Rehder	クマイザサ	○	○
	<i>Schedonorus phoenix</i> (Scop.) Holub	オニウシノケグサ	○	—
	<i>Spodiopogon sibiricus</i> Trin.	オオアブラススキ	○	—
	<i>Zoysia japonica</i> Steud.	シバ	○	—
Papaveraceae	ケシ科			
	<i>Dicentra peregrina</i> (Rudolph) Makino	コマクサ	○	○
Lardizabalaceae	アケビ科			
	<i>Akebia quinata</i> (Houtt.) Decne.	アケビ	○	○
Berberidaceae	メギ科			
	<i>Berberis amurensis</i> Rupr.	ヒロハヘビノボラス	○	—
	<i>Berberis thunbergii</i> DC.	メギ	○	—
Ranunculaceae	キンポウゲ科			
	<i>Anemone debilis</i> Fisch. ex Turcz.	ヒメイチゲ	○	○
	<i>Anemone narcissiflora</i> L. subsp. <i>nipponica</i> (Tamura) Kadota	ハクサンイチゲ	○	○
	<i>Aquilegia buergeriana</i> Siebold et Zucc. var. <i>buergeriana</i>	ヤマオダマキ	○	○
	<i>Aquilegia buergeriana</i> Siebold et Zucc. var. <i>buergeriana</i> f. <i>flavescens</i> Makino	キバナノヤマオダマキ	○	○
	<i>Clematis alpina</i> (L.) Mill. subsp. <i>ochotensis</i> (Pall.) Kuntze var. <i>fusijamana</i>	ミヤマハンショウヅル	○	○
	<i>Clematis stans</i> Siebold et Zucc.	クサボタン	○	—
	<i>Coptis japonica</i> (Thunb.) Makino var. <i>japonica</i>	コセリバオウレン	○	○
	<i>Coptis japonica</i> (Thunb.) Makino var. <i>major</i> (Miq.) Satake	セリバオウレン	○	○
	<i>Coptis trifolia</i> (L.) Salisb.	ミツバオウレン	○	○
	<i>Ranunculus japonicus</i> Thunb. var. <i>akagiensis</i> Hiyama	アカギキンポウゲ	○	—
	<i>Thalictrum aquilegifolium</i> L. var. <i>intermedium</i> Nakai	カラマツソウ	○	○
	<i>Thalictrum aquilegifolium</i> L. var. <i>sibiricum</i> Regel et Tiling	マンセンカラマツソウ	○	○
	<i>Thalictrum minus</i> L. var. <i>hypoleucum</i> (Siebold et Zucc.) Miq.	アキカラマツ	○	○
Grossulariaceae	スグリ科			
	<i>Ribes maximowiczianum</i> Kom.	ザリコミ	○	○
Saxifragaceae	ユキノシタ科			
	<i>Astilbe formosa</i> Nakai	ハナチダケサシ	○	○
	<i>Astilbe microphylla</i> Knoll	チダケサシ	○	—
Crassulaceae	ベンケイソウ科			
	<i>Phedimus aizoon</i> (L.) 't Hart var. <i>aizoon</i>	ホソバノキリンソウ	○	—
Fabaceae	(Leguminosae) マメ科			
	<i>Lespedeza bicolor</i> Turcz.	ヤマハギ	○	—
	<i>Maackia amurensis</i> Rupr. et Maxim.	イヌエンジュ	○	—

付表 1-4 長野県東御市湯の丸高原の植物目録

科名	学名	和名	湯の丸	池の平
	<i>Trifolium lupinaster</i> L.	シャジクソウ	○	○
	<i>Trifolium pratense</i> L.	ムラサキツメクサ	○	○
	<i>Trifolium repens</i> L.	シロツメクサ	○	○
	<i>Vicia amoena</i> Fisch. ex Ser.	ツルフジバカマ	○	○
Rosaceae	バラ科			
	<i>Aria alnifolia</i> (Siebold et Zucc.) Decne.	アズキナシ	○	—
	<i>Aruncus dioicus</i> (Walter) Fernald var. <i>kamtschaticus</i> (Maxim.) H.Hara	ヤマブキショウマ	○	○
	<i>Cerasus maximowiczii</i> (Rupr.) Kom.	ミヤマザクラ	○	—
	<i>Cerasus nipponica</i> (Matsum.) Ohle ex H.Ohba var. <i>nipponica</i>	タカネザクラ	○	○
	<i>Chaenomeles japonica</i> (Thunb.) Lindl. ex Spach	クサボケ	○	○
	<i>Filipendula camtschatica</i> (Pall.) Maxim.	オニシモツケ	○	—
	<i>Filipendula multijuga</i> Maxim.	シモツケソウ	○	—
	<i>Fragaria nipponica</i> Makino	シロバナノヘビイチゴ	○	○
	<i>Malus baccata</i> (L.) Borkh. var. <i>mandshurica</i> (Maxim.) C.K.Schneid.	エゾノコリンゴ	○	○
	<i>Malus toringo</i> (Siebold) Siebold ex de Vriese var. <i>toringo</i>	ズミ	○	○
	<i>Potentilla ancistriifolia</i> Bunge var. <i>dickinsii</i> (Franch. et Sav.) Koidz.	イワキンバイ	○	—
	<i>Potentilla centigrana</i> Maxim.	ヒメヘビイチゴ	○	—
	<i>Potentilla fragarioides</i> L. var. <i>major</i> Maxim.	キジムシロ	○	—
	<i>Potentilla freyniana</i> Bornm.	ミツバツチグリ	○	○
	<i>Potentilla rosulifera</i> H.Lév.	ツルキンバイ	○	—
	<i>Rosa multiflora</i> Thunb.	ノイバラ	○	○
	<i>Rubus idaeus</i> L. subsp. <i>nipponicus</i> Focke	ミヤマウラジロイチゴ	○	○
	<i>Rubus mesogaeus</i> Focke	クロイチゴ	○	—
	<i>Rubus subcrataegifolius</i> (H.Lév. et Vaniot) H.Lév.	ミヤマニガイチゴ	○	○
	<i>Sanguisorba longifolia</i> Bertol.	ミヤマワレモコウ	○	○
	<i>Sanguisorba officinalis</i> L.	ワレモコウ	○	○
	<i>Sorbus commixta</i> Hedl. var. <i>commixta</i>	ナナカマド	○	○
	<i>Sorbus commixta</i> Hedl. var. <i>rufoferruginea</i> C.K.Schneid.	サビバナナカマド	○	○
	<i>Spiraea japonica</i> L.f.	シモツケ	○	○
Elaeagnaceae	グミ科			
	<i>Elaeagnus montana</i> Makino var. <i>ovata</i> (Maxim.) Araki	ツクバグミ	○	—
Cannabaceae	アサ科			
	<i>Humulus scandens</i> (Lour.) Merr.	カナムグラ	○	—
Fagaceae	ブナ科			
	<i>Quercus crispula</i> Blume var. <i>crispula</i>	ミズナラ	○	○
Betulaceae	カバノキ科			
	<i>Alnus firma</i> Siebold et Zucc.	ヤシャブシ	○	—
	<i>Alnus matsumurae</i> Callier	ヤハズハンノキ	○	○
	<i>Alnus viridis</i> (Chaix) Lam. et DC. subsp. <i>maximowiczii</i> (Callier) D.Löve	ミヤマハンノキ	○	○
	<i>Betula ermanii</i> Cham. var. <i>ermanii</i>	ダケカンバ	○	○
	<i>Betula grossa</i> Siebold et Zucc.	ミズメ	○	—
	<i>Betula maximowicziana</i> Regel	ウダイカンバ	○	—
	<i>Betula platyphylla</i> Sukaczew var. <i>japonica</i> (Miq.) H.Hara	シラカンバ	○	○
	<i>Carpinus japonica</i> Blume	クマシデ	○	—
	<i>Corylus sieboldiana</i> Blume var. <i>sieboldiana</i>	ツノハシバミ	○	○
Celastraceae	ニシキギ科			
	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb. var. <i>strigillosus</i> (Nakai) H.Hara	オニツルウメモドキ	○	—
	<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold f. <i>alatus</i>	ニシキギ	○	○
	<i>Euonymus macropterus</i> Rupr.	ヒロハノツリバナ	○	○
	<i>Euonymus planipes</i> (Koehne) Koehne	オオツリバナ	○	—
	<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume var. <i>sanguineus</i> Nakai	カントウマユミ	○	—
	<i>Parnassia palustris</i> L. var. <i>palustris</i>	ウメバチソウ	○	○
Oxalidaceae	カタバミ科			
	<i>Oxalis acetosella</i> L. var. <i>acetosella</i>	コミヤマカタバミ	○	○
Euphorbiaceae	トウダイグサ科			
	<i>Euphorbia lasiocaula</i> Boiss.	タカトウダイ	○	○
Salicaceae	ヤナギ科			
	<i>Populus tremula</i> L. var. <i>sieboldii</i> (Miq.) Kudô	ヤマナラシ	○	—
	<i>Salix caprea</i> L.	バツコヤナギ	○	○
	<i>Salix gracilistyla</i> Miq.	ネコヤナギ	—	○
	<i>Salix integra</i> Thunb.	イヌコリヤナギ	○	○
	<i>Salix reinii</i> Franch. et Sav. ex Seemen	ミヤマヤナギ	○	—
	<i>Salix udensis</i> Trautv. et C.A.Mey.	オノエヤナギ	○	○
Violaceae	スミレ科			
	<i>Viola acuminata</i> Ledeb.	エゾノタチツボスミレ	○	—
	<i>Viola blandiformis</i> Nakai	ウスバスミレ	○	○
	<i>Viola grypceras</i> A.Gray var. <i>grypceras</i>	タチツボスミレ	○	○

付表 1-5 長野県東御市湯の丸高原の植物目録

科名	学名	和名	湯の丸	池の平
	<i>Viola hirtipes</i> S.Moore	サクラスミレ	○	—
	<i>Viola mandshurica</i> W.Becker	スミレ	○	○
	<i>Viola patrinii</i> DC.	シロスミレ	○	—
	<i>Viola verecunda</i> A.Gray var. <i>verecunda</i>	ツボスミレ	○	○
	<i>Viola yazawana</i> Makino	ヒメスミレサイシン	○	—
Hypericaceae	オトギリソウ科			
	<i>Hypericum erectum</i> Thunb.	オトギリソウ	○	○
	<i>Hypericum nikkoense</i> Makino	ニッコウオトギリ	○	○
	<i>Hypericum senanense</i> Maxim. subsp. <i>mutiloides</i> (R.Keller) N.Robson	イワオトギリ	○	○
Geraniaceae	フウロソウ科			
	<i>Geranium onoei</i> Franch. et Sav. var. <i>onoei</i> f. <i>onoei</i>	ゲンナイフウロ	○	○
	<i>Geranium thunbergii</i> Siebold ex Lindl. et Paxton	ゲンノショウコ	○	—
	<i>Geranium yesoense</i> Franch. et Sav. var. <i>hidaense</i> (Makino) H.Hara	イブキフウロ	○	○
	<i>Geranium yesoense</i> Franch. et Sav. var. <i>nipponicum</i> Nakai	ハクサンフウロ	○	○
Onagraceae	アカバナ科			
	<i>Chamerion angustifolium</i> (L.) Holub subsp. <i>circumvagum</i> (Mosquin) Hoch	ウスゲヤナギラン	○	○
	<i>Epilobium pyrricholophum</i> Franch. et Sav. var. <i>pyrricholophum</i>	アカバナ	○	○
	<i>Oenothera biennis</i> L.	メマツヨイグサ	○	—
Anacardiaceae	ウルシ科			
	<i>Toxicodendron trichocarpum</i> (Miq.) Kuntze	ヤマウルシ	○	—
Sapindaceae	ムクロジ科			
	<i>Acer distylum</i> Siebold et Zucc.	ヒトツバカエデ	○	○
	<i>Acer pictum</i> Thunb. subsp. <i>savatieri</i> (Pax) H.Ohashi	イトマキイタヤ	○	—
	<i>Acer rufinerve</i> Siebold et Zucc.	ウリハダカエデ	○	—
	<i>Acer tschonoskii</i> Maxim. var. <i>macrophyllum</i> Nakai	オオバミネカエデ	○	○
	<i>Acer ukurunduense</i> Trautv. et C.A.Mey.	オガラバナ	○	○
	<i>Acer ukurunduense</i> Trautv. et C.A.Mey. f. <i>pilosum</i> (Nakai) Nakai ex H.Hara	ウスゲオガラバナ	○	○
Malvaceae	アオイ科			
	<i>Tilia japonica</i> (Miq.) Simonk.	シナノキ	○	—
Brassicaceae	アブラナ科			
	<i>Arabis serrata</i> Franch. et Sav. var. <i>japonica</i> (H.Boissieu) Ohwi	イワハタザオ	○	○
	<i>Capsella bursa-pastoris</i> (L.) Medik.	ナズナ	○	—
Polygonaceae	タデ科			
	<i>Aconogonon weyrichii</i> (F.Schmidt) H.Hara var. <i>alpinum</i> (Maxim.) H.Hara	オンタデ	○	○
	<i>Bistorta officinalis</i> Delarbre subsp. <i>japonica</i> (H.Hara) Yonek.	イブキトラノオ	○	—
	<i>Bistorta vivipara</i> (L.) Delarbre	ムカゴトラノオ	○	—
	<i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decr. var. <i>japonica</i>	イタドリ	○	○
	<i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decr. var. <i>japonica</i> f. <i>colorans</i> (Makino) Yonek.	メイゲツソウ	—	○
	<i>Persicaria nepalensis</i> (Meisn.) H.Gross	タニソバ	○	—
	<i>Polygonum aviculare</i> L. subsp. <i>aviculare</i>	ミチヤナギ	○	○
	<i>Rumex acetosa</i> L.	スイバ	○	—
	<i>Rumex acetosella</i> L.	ヒメスイバ	○	○
	<i>Rumex conglomeratus</i> Murray	アレチギシギシ	○	○
	<i>Rumex japonicus</i> Houtt.	ギシギシ	○	—
	<i>Rumex obtusifolius</i> L.	エゾノギシギシ	○	○
Droseraceae	モウセンゴケ科			
	<i>Drosera rotundifolia</i> L.	モウセンゴケ	○	○
Caryophyllaceae	ナデシコ科			
	<i>Arenaria lateriflora</i> L.	オオヤマフスマ	○	○
	<i>Cerastium fontanum</i> Baumg. subsp. <i>vulgare</i> (Hartm.) Greuter et Burdet	ミミナグサ	○	○
	var. <i>angustifolium</i> (Franch.) H.Hara	オランダミミナグサ	○	—
	<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	タカネナデシコ	○	—
	<i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>speciosus</i> Rehb.	エゾカワラナデシコ	○	○
	<i>Dianthus superbus</i> L. var. <i>superbus</i>	ヒゲネワチガイソウ	○	—
	<i>Pseudostellaria palibiniana</i> (Takeda) Ohwi	フシグロセンノウ	○	—
	<i>Silene miqueliana</i> (Rohrb.) H.Ohashi et H.Nakai			
Cornaceae	ミズキ科			
	<i>Cornus canadensis</i> L.	ゴゼンタチバナ	○	○
	<i>Cornus controversa</i> Hemsl. ex Prain var. <i>controversa</i>	ミズキ	○	—
Hydrangeaceae	アジサイ科			
	<i>Hydrangea paniculata</i> Siebold	ノリウツギ	○	○
	<i>Hydrangea petiolaris</i> Siebold et Zucc.	ツルアジサイ	○	—
Balsaminaceae	ツリフネソウ科			
	<i>Impatiens noli-tangere</i> L.	キツリフネ	○	○
Primulaceae	サクラソウ科			
	<i>Lysimachia clethroides</i> Duby	オカトラノオ	○	○
	<i>Lysimachia japonica</i> Thunb.	ナガエコナスビ	○	—

付表 1-6 長野県東御市湯の丸高原の植物目録

科名	学名	和名	湯の丸	池の平
	<i>Lysimachia japonica</i> Thunb. f. <i>subsessilis</i> (F.Mack. ex H.Hara) Murata	コナスビ	○	○
	<i>Trientalis europaea</i> L. var. <i>europaea</i>	ツマトリソウ	○	○
Diapensiaceae イワウメ科				
	<i>Schizocodon soldanelloides</i> Siebold et Zucc. var. <i>soldanelloides</i>	イワカガミ	○	○
	<i>Schizocodon soldanelloides</i> Siebold et Zucc. var. <i>soldanelloides</i> f. <i>alpinus</i>	コイワカガミ	○	○
Actinidiaceae マタタビ科				
	<i>Actinidia arguta</i> (Siebold et Zucc.) Planch. ex Miq.	サルナシ	○	—
	<i>Actinidia kolomikta</i> (Maxim. et Rupr.) Maxim.	ミヤママタタビ	○	○
	<i>Actinidia polygama</i> (Siebold et Zucc.) Planch. ex Maxim.	マタタビ	○	—
Clethraceae リョウブ科				
	<i>Clethra barbinervis</i> Siebold et Zucc.	リョウブ	○	○
Ericaceae ツツジ科				
	<i>Andromeda polifolia</i> L.	ヒメシャクナゲ	○	○
	<i>Arctica nana</i> (Maxim.) Makino	コメバツガザクラ	○	—
	<i>Elliottia bracteata</i> (Maxim.) Hook.f.	ミヤマホツツジ	○	○
	<i>Elliottia paniculata</i> (Siebold et Zucc.) Hook.f.	ホツツジ	○	○
	<i>Empetrum nigrum</i> L. var. <i>japonicum</i> K. Koch	ガンコウラン	○	○
	<i>Enkianthus campanulatus</i> (Miq.) G.Nicholson var. <i>campanulatus</i>	サラサドウダン	○	○
	<i>Enkianthus campanulatus</i> (Miq.) G.Nicholson var. <i>palibinii</i> (Craib) Bean	ベニサラサドウダン	○	—
	<i>Gaultheria pyrolloides</i> Hook.f. et Thomson ex Miq.	シラタマノキ	○	○
	<i>Loiseleuria procumbens</i> (L.) Desv.	ミネズオウ	○	○
	<i>Monotropastrum humile</i> (D.Don) H.Hara	ギンリョウソウ	○	—
	<i>Phyllodoce nipponica</i> Makino	ツガザクラ	○	○
	<i>Pyrola alpina</i> Andres	コバノイチヤクソウ	○	○
	<i>Pyrola asarifolia</i> Michx. subsp. <i>incarnata</i> (DC.) A.E.Murray	ベニバナイチヤクソウ	○	○
	<i>Pyrola japonica</i> Klenze ex Alefeld	イチヤクソウ	○	—
	<i>Pyrola nephrophylla</i> (Andres) Andres	マルバノイチヤクソウ	○	○
	<i>Pyrola renifolia</i> Maxim.	ジンヨウイチヤクソウ	○	○
	<i>Rhododendron albrechtii</i> Maxim.	ムラサキヤシオツツジ	○	—
	<i>Rhododendron brachycarpum</i> D.Don ex G.Don	ハクサンシャクナゲ	○	○
	<i>Rhododendron brachycarpum</i> D.Don ex G.Don f. <i>fauriei</i> (Franch.) Murata	ケナシハクサンシャクナゲ	○	○
	<i>Rhododendron degranianum</i> Carrière	アズマシャクナゲ	○	○
	<i>Rhododendron molle</i> (Blume) G.Don subsp. <i>japonicum</i> (A.Gray) K.Kron	レンゲツツジ	○	○
	<i>Rhododendron molle</i> G.Don subsp. <i>japonicum</i> (A.Gray) K.Kron f.	ウラジロレンゲツツジ	○	○
	<i>glaucophyllum</i> (Nakai) Yonek.			
	<i>Rhododendron multiflorum</i> (Maxim.) Craven	ウラジロヨウラク	○	—
	<i>Rhododendron pentandrum</i> (Maxim.) Craven	コヨウラクツツジ	○	○
	<i>Rhododendron tschonoskii</i> Maxim. var. <i>tschonoskii</i>	コメツツジ	○	○
	<i>Vaccinium hirtum</i> Thunb. var. <i>hirtum</i>	コウスノキ	—	○
	<i>Vaccinium hirtum</i> Thunb. var. <i>pubescens</i> (Koidz.) T.Yamaz.	ウスノキ	○	○
	<i>Vaccinium smallii</i> A.Gray var. <i>glabrum</i> Koidz.	スノキ	—	○
	<i>Vaccinium smallii</i> A.Gray var. <i>smallii</i>	オオバスノキ	○	○
	<i>Vaccinium uliginosum</i> L. var. <i>uliginosum</i>	クロマメノキ	○	○
	<i>Vaccinium vitis-idaea</i> L.	コケモモ	○	○
	<i>Vaccinium yatabei</i> Makino	ヒメウスノキ	○	○
Rubiaceae アカネ科				
	<i>Galium japonicum</i> Makino	クルマムグラ	○	—
	<i>Galium kamtschaticum</i> Steller ex Roem. et Schult. var. <i>kamtschaticum</i>	エゾノヨツバムグラ	○	○
	<i>Galium trifloriforme</i> Kom.	オククルマムグラ	—	○
	<i>Galium verum</i> L. subsp. <i>asiaticum</i> (Nakai) T.Yamaz. var. <i>trachycarpum</i> DC.	エゾノカワラマツバ	○	—
Gentianaceae リンドウ科				
	<i>Gentiana makinoi</i> Kusn.	オヤマリンドウ	○	○
	<i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim. ex Franch. et Sav.	リンドウ	○	—
	<i>Gentiana triflora</i> Pall. var. <i>japonica</i> (Kusn.) H.Hara	エゾリンドウ	○	○
	<i>Gentiana zollingeri</i> Fawe.	フデリンドウ	○	○
	<i>Halenia corniculata</i> (L.) Cornaz	ハナイカリ	○	○
	<i>Swertia bimaculata</i> (Siebold et Zucc.) Hook.f. et Thomson ex C.B.Clarke	アケボノソウ	○	○
	<i>Tripterospermum japonicum</i> (Siebold et Zucc.) Maxim. var. <i>involutum</i> (N.Yonez.) J.Murata	テンゲノコヅチ	○	○
	<i>Tripterospermum japonicum</i> (Siebold et Zucc.) Maxim. var. <i>involutum</i> (N.Yonez.) J.Murata f. <i>album</i> T.Shimizu	シロバナテンゲノコヅチ	○	○
Oleaceae モクセイ科				
	<i>Fraxinus apertisquamifera</i> H.Hara	ミヤマアオダモ	○	○
	<i>Fraxinus lanuginosa</i> Koidz. f. <i>lanuginosa</i>	ケアオダモ	○	—
	<i>Fraxinus lanuginosa</i> Koidz. f. <i>serrata</i> (Nakai) Murata	アオダモ	○	—
	<i>Fraxinus sieboldiana</i> Blume	マルバアオダモ	○	—
	<i>Ligustrum tschonoskii</i> Decne.	ミヤマイボタ	○	—

付表 1-7 長野県東御市湯の丸高原の植物目録

科名	学名	和名	湯の丸	池の平
Plataginaceae オオバコ科				
	<i>Plantago asiatica</i> L.	オオバコ	○	○
	<i>Veronica onoei</i> Franch. et Sav.	ゲンバイツル	○	○
	<i>Veronicastrum sibiricum</i> (L.) Pennell f. <i>album</i> T. Shimizu	シロバナクガイソウ	○	○
	<i>Veronicastrum sibiricum</i> (L.) Pennell f. <i>glabrata</i> (Nakai) H. Ohashi	クガイソウ	○	○
Lamiaceae シソ科				
	<i>Callicarpa japonica</i> Thunb.	ムラサキシキブ	○	—
	<i>Clinopodium chinense</i> (Benth.) Kuntze subsp. <i>grandiflorum</i> (Maxim.) H.Hara	クormaバナ	○	—
	<i>Prunella vulgaris</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (Nakai) H.Hara	ウツボグサ	○	○
	<i>Thymus quinquecostatus</i> Celak. var. <i>quinquecostatus</i>	イブキジャコウソウ	○	○
Orobanchaceae ハマウツボ科				
	<i>Euphrasia maximowiczii</i> Wettst. var. <i>maximowiczii</i>	タチコメゲサ	○	○
	<i>Pedicularis resupinata</i> L.	シオガマギク	○	○
	<i>Pedicularis resupinata</i> L. subsp. <i>teucriifolia</i> (M.Bieb. ex Steven) T.Yamaz. var. <i>caespitosa</i> Koidz.	トモエシオガマ	○	○
Aquifoliaceae モチノキ科				
	<i>Ilex rugosa</i> F.Schmidt var. <i>rugosa</i>	ツルツゲ	○	○
	<i>Ilex sugerokii</i> Maxim. var. <i>brevipedunculata</i> (Maxim.) S.Y.Hu	アカミノイヌツゲ	○	○
Campanulaceae キキョウ科				
	<i>Adenophora nikoensis</i> Franch. et Sav. var. <i>nikoensis</i>	ヒメシャジン	○	○
	<i>Adenophora triphylla</i> (Thunb.) A.DC. var. <i>japonica</i> (Regel) H.Hara	ツリガネニンジン	○	○
	<i>Campanula punctata</i> Lam. var. <i>hondoensis</i> (Kitam.) Ohwi	ヤマホタルブクロ	○	○
	<i>Lobelia sessilifolia</i> Lamb.	サウギキョウ	○	○
Asteraceae キク科				
	<i>Achillea alpina</i> L. var. <i>alpina</i>	ノコギリソウ	○	—
	<i>Achillea alpina</i> L. var. <i>discoidea</i> (Regel) Kitam.	ヤマノコギリソウ	○	—
	<i>Achillea millefolium</i> L.	セイヨウノコギリソウ	○	○
	<i>Anaphalis margaritacea</i> (L.) Benth. et Hook.f. subsp. <i>margaritacea</i>	ヤマハハコ	○	○
	<i>Artemisia indica</i> Willd. var. <i>maximowiczii</i> (Nakai) H.Hara	ヨモギ	○	○
	<i>Artemisia montana</i> (Nakai) Pamp.	オオヨモギ	○	○
	<i>Aster glehnii</i> F.Schmidt var. <i>hondoensis</i> Kitam.	ゴマナ	○	○
	<i>Chrysanthemum rupestre</i> Matsum. et Koidz.	イワインテン	○	○
	<i>Cirsium japonicum</i> Fisch. ex DC. var. <i>japonicum</i>	ノアザミ	○	○
	<i>Cirsium oligophyllum</i> (Franch. et Sav.) Matsum. var. <i>nikkoense</i> (Nakai ex Matsum. et Koidz.) Kitam.	ニッコウアザミ	○	○
	<i>Cirsium oligophyllum</i> (Franch. et Sav.) Matsum. var. <i>oligophyllum</i>	ノハラアザミ	○	○
	<i>Cirsium yatsualpicola</i> Kadota et Y.Amano	ヤツタカネアザミ	○	○
	<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.	ヒメジョオン	○	○
	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.	ハルジオン	○	○
	<i>Erigeron pseudoannuus</i> Makino	ヤナギバヒメジョオン	○	○
	<i>Erigeron strigosus</i> Muhl. ex Willd.	ヘラバヒメジョオン	○	—
	<i>Erigeron thunbergii</i> A.Gray subsp. <i>thunbergii</i>	アズマギク	○	—
	<i>Eupatorium glehnii</i> F.Schmidt ex Trautv.	ヨツバヒヨドリバナ	○	○
	<i>Eupatorium makinoi</i> T.Kawahara et Yahara var. <i>oppositifolium</i> (Koidz.) T.Kawahara et Yahara	オオヒヨドリバナ	○	—
	<i>Hieracium japonicum</i> Franch. et Sav.	ミヤマコウゾリナ	○	○
	<i>Hieracium umbellatum</i> L.	ヤナギタンポポ	○	○
	<i>Ixeridium alpicola</i> (Takeda) J.H.Pak et Kawano	タカネニガナ	○	○
	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev subsp. <i>dentatum</i>	ニガナ	○	○
	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev subsp. <i>nipponicum</i> (Nakai) J.H.Pak et Kawano var. <i>albiflorum</i> (Makino) Tzvelev	シロバナニガナ	○	○
	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev subsp. <i>nipponicum</i> (Nakai) J.H.Pak et Kawano var. <i>albiflorum</i> (Makino) Tzvelev f. <i>amplifolium</i> (Kitam.) H.Nakai et Leibnitzia anandria (L.) Turcz.	ハナニガナ	○	○
	<i>Leontopodium japonicum</i> Miq. var. <i>japonicum</i>	センボンヤリ	○	—
	<i>Leontopodium japonicum</i> Miq. var. <i>shiroumense</i> Nakai ex Kitam.	ウスユキソウ	○	○
	<i>Ligularia dentata</i> (A.Gray) H.Hara	ミネウスユキソウ	○	○
	<i>Ligularia stenocephala</i> (Maxim.) Matsum. et Koidz.	マルバダケブキ	○	○
	<i>Nemosencio nikoensis</i> (Miq.) B.Nord.	メタカラコウ	○	—
	<i>Parasenecio adenostyloides</i> (Franch. et Sav. ex Maxim.) H.Koyama	サワギク	○	○
	<i>Petasites japonicus</i> (Siebold et Zucc.) Maxim.	カニコウモリ	○	○
	<i>Picris hieracioides</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Krylov var. <i>japonica</i>	フキ	○	○
	<i>Pseudognaphalium affine</i> (D.Don) Anderb.	コウゾリナ	○	○
	<i>Saussurea mihokokawakamiana</i> Kadota	ハハコグサ	○	—
	<i>Senecio nemorensis</i> L.	トウミトウヒレン	○	○
	<i>Serratula coronata</i> L. subsp. <i>insularis</i> (Iljin) Kitam.	キオン	○	○
	<i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (Nakai ex H.Hara) Kitam. ex H.Hara	タムラソウ	○	—
		アキノキリンソウ	○	○

付表 1-8 長野県東御市湯の丸高原の植物目録

科名	学名	和名	湯の丸	池の平
	<i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>leiocarpa</i> (Benth.) Hultén	ミヤマアキノキリンソウ	○	—
	<i>Synurus excelsus</i> (Makino) Kitam.	ハバヤマボクチ	○	○
	<i>Taraxacum officinale</i> Weber ex F.H.Wigg.	セイヨウタンポポ	○	○
	<i>Taraxacum officinale</i> Weber ex F.H.Wigg. x <i>T. platycarpum</i> Dahlst.	アイノコセイヨウタンポポ	○	—
	<i>Tephrosieris flammea</i> (Turcz. ex DC.) Holub subsp. <i>glabrifolia</i> (Cufod.) B.Nord.	コウリンカ	○	○
Adoxaceae	レンブクソウ科			
	<i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) H.Hara var. <i>sieboldiana</i>	ニワトコ	○	—
	<i>Viburnum furcatum</i> Blume ex Maxim.	オオカメノキ	○	○
	<i>Viburnum opulus</i> L. var. <i>sargentii</i> (Koehne) Takeda	カンボク	○	—
	<i>Viburnum urceolatum</i> Siebold et Zucc. f. <i>procumbens</i> (Nakai) H.Hara	ミヤマシグレ	○	○
	<i>Viburnum wrightii</i> Miq. var. <i>stipellatum</i> Nakai	オオミヤマガマズミ	○	—
Caprifoliaceae	スイカズラ科			
	<i>Abelia spathulata</i> Siebold et Zucc. var. <i>spathulata</i>	ツクバネウツギ	○	—
	<i>Linnaea borealis</i> L.	リンネソウ	○	○
	<i>Lonicera linderifolia</i> Maxim. var. <i>konoii</i> (Makino) Okuyama	コゴメヒヨウタンボク	○	—
	<i>Patrinia scabiosifolia</i> Fisch. ex Trevir.	オミナエシ	○	—
	<i>Patrinia triloba</i> (Miq.) Miq. var. <i>triloba</i>	ハクサンオミナエシ	○	○
	<i>Scabiosa japonica</i> Miq. var. <i>japonica</i>	マツムシソウ	○	○
	<i>Weigela decora</i> (Nakai) Nakai var. <i>decora</i>	ニシキウツギ	○	○
Araliaceae	ウコギ科			
	<i>Aralia cordata</i> Thunb.	ウド	○	○
	<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seem.	タラノキ	○	○
	<i>Aralia glabra</i> Matsum.	ミヤマウド	○	○
	<i>Chengiopanax sciadophylloides</i> (Franch. et Sav.) C.B.Shang et J.Y.Huang	コシアブラ	○	○
	<i>Hydrocotyle ramiflora</i> Maxim.	オオチドメ	○	—
	<i>Kalopanax septemlobus</i> (Thunb.) Koidz.	ハリギリ	○	○
	<i>Oplopanax japonicus</i> (Nakai) Nakai	ハリブキ	○	○
Apiaceae	セリ科			
	<i>Aegopodium alpestre</i> Ledeb.	エゾボウフウ	○	—
	<i>Angelica decursiva</i> (Miq.) Franch. et Sav.	ノダケ	○	○
	<i>Angelica edulis</i> Miyabe ex Y.Yabe	アマニウ	○	—
	<i>Angelica pubescens</i> Maxim. var. <i>pubescens</i>	シシウド	○	○
	<i>Angelica pubescens</i> Maxim. var. <i>matsumurae</i> (Y.Yabe) Ohwi	ミヤマシシウド	○	—
	<i>Conioselinum chinense</i> (L.) Britton, Sterns et Poggenb.	ミヤマセンキュウ	○	○
	<i>Libanotis ugoensis</i> (Koidz.) Kitag. var. <i>japonica</i> (H.Boissieu) T.Yamaz.	イブキボウフウ	○	○
	<i>Tilingia ajanensis</i> Regel	シラネニンジン	○	○

※湯の丸は、図 1 にある地蔵峠の西側を、池の平は東側を調査地とした。